

第三者評価結果

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
【A1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a
<p><コメント></p> <p>全体の計画は、児童憲章、児童の権利条約、児童福祉法、保育所保育指針の趣旨に則り、子どもの最善の利益を最優先するとともに、子どもの権利の尊重、心情や意欲を丁寧にくみ取っていく姿勢が貫かれています。「生きる力を創る」という保育理念をもとに、養護の観点、教育的観点から各発達年齢ごとのねらい、目標をたてています。長時間にわたる保育に関しても、やすらぎや、ほっとするような保育をめざすとしています。他地域からの転入世帯が多いため、地域とのかかわりを深めるよう、地域交流や地域支援事業を行うとしています。全体計画は、職員アンケートや話し合いの中から課題を抽出し、保育にかかわる全職員が参画して、年度末の職員会議で見直しを行っています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
【A2】	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p><コメント></p> <p>全館冷暖房で、室内の温度湿度は各部屋ごとに日に4回、定時に記録し適切に管理しています。夏場の熱中症対策として、暑さ指数(WBGT)の早見表を貼りだしています。午睡時には、足元が見えるくらいの薄暗い光に調整しています。また、睡眠に差しさわりのないように、午睡しない年長児の遊びスペースを離しています。シーツは業者が定期的にクリーニング交換し、清潔を保っています。保育室に製作、絵本、ブロックなど遊びのコーナーを随所に配置し、子どもが興味に応じて選択できるようにしています。本物の炊飯器をおもちゃにしてごはんを炊く、ごっこ遊びができる工夫をしています。保育室にはソファやクッションを置き、たたみの部屋でも横になったりして、くつろぐことができます。</p>		
【A3】	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの個人差は、0～2歳児は毎日、3～5歳児は毎月個別記録を記入して把握しています。子どもの情緒の状態に合わせて、年齢が上の子どもと遊んだり、ゆっくりと自分の世界で遊ぶ子どもなど個別に対応しています。自分を表現することが十分でなく、他児童をたたいたり、かんだりする場合には、「なんでたたくの」ではなく、「どうしたかったの」など、子どもの気持ちをまず代弁する、応答的な対応を重視しています。子どもにわかりやすく、穏やかな言葉で話すことに心がけていますが、つきつい言葉がけをしてしまわないよう気を付けていきたいとしています。そのために保育者自身が、自らの言動を自己評価するチェックシートで振り返りを行っています。</p>		
【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>子どもがやりたいという意欲を大切に、保育者がそばで見守ったり介助しながら、「できた」という満足感を感じ、さらなる意欲につなげる保育に努めています。初めに保育者とゆっくり手順を確認しながら行い、次は自分でできた喜びを感じて次に挑戦できるように一人ひとりの状況に合わせたかかわりをしています。着替えや排せつは、一斉に行わず少人数で行っています。おもらしの時は、子どもの気持ちを大切にして、決して叱らず、「気持ち悪かったね」と寄り添い、トイレに行った後は「すっきりしたね」と、またトイレに行きたいと思うような対応に心掛けています。また、子どもの体調に合わせて活動を控えたり、休息を十分とれるように配慮しています。</p>		

【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p><コメント></p> <p>保育室には、アートコーナー、ホワイトボード、黒板、製作のための素材である廃材などが用意されており、それぞれのコーナーで子どもたちがおもしろいおもしろいを選んで遊べ、自由に表現できるように工夫をしています。乳児も幼児も子どもたちの希望する異年齢のグループと遊んでいます。天気が良ければ、毎日散歩にでて、近隣の公園で四季を感じながら遊びます。公園①、公園②、園庭などのなかから、行先は子ども自身が自分で選びます。5歳児になると公共バスに乗る機会をつくっています。お楽しみ会では、調理する食材を近所のスーパーに買い物にでかけたり、事務所で使う葉書を郵便局に買いに出かけたりもします。地域で出会う人たちやそれぞれの行先であいさつやお礼などをするようにしています。</p>		
【A6】	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>異年齢で過ごす活動が多い中で0歳児用に畳敷きのコーナーを作り、落ち着いて過ごすように配慮をしています。保育者が一人ひとりとゆっくりふれあい、スキンシップを大切にし、情緒の安定を図ることを大切にしています。子どもの興味や発達に合わせて、おすわりしたり、ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩き、歩行の探索、運動ができる保育環境に配慮をしています。喃語にこめられた気持ちを受け止め、やりとりを楽しめるようにしています。子どもの声や指差しに耳を傾け、ゆっくり名前や動作を添えて、発語の芽生えを促しています。わらべ歌や手遊びでふれあい遊びを楽しんでいます。保護者には小さな変化も報告するようにし、信頼関係を築くように努めています。夕方の最終の長時間帯では、幼児と同じ部屋で過ごすことになるため、もう少し落ち着いて過ごせる工夫を検討しています。</p>		
【A7】	A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>食事、排せつなどの生活行為は、やりたい意欲を大切に、「自分で」という気持ちに対して見守ったり励ましたりしています。保育者とゆっくり手順を追って確認するようにし、できた時にはその喜びを共感するようにしています。癪癪や他児とのぶつかり合いの経験を通じて悲しい、いやだ、甘えたいという感情を受け止め、わかりやすい言葉で保育者が仲立ちをして心の安定を図るように努めています。散歩先の公園で落ち葉やどんぐりを探して集めたりしています。幼児と一緒に遊んだり、食事をしています。連絡帳で1日の様子を伝え、家庭との連絡体制を整えています。0～2歳児は一緒に過ごすことが多いですが、2歳児になるとハサミを使うので、安全性の面でどのような環境を工夫すべきか、検討していきたいとしています。</p>		
【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>3歳児の保育は、自分以外の他者の存在を知り、様々な考えや気持ちがあり、自らの葛藤を経験すること、相手を受け入れようとする力を育てるような保育をしています。友だちとの遊びのきっかけを作り、保育者が引き際を見極めて、子ども同士がかかわるのをゆっくり見守るようにしています。4歳児は、リレー、キャタピラなどのゲームを通して、友だちと協同する喜びを体験するようにしています。バナナ鬼やしっぽとりゲームなどルール性のある遊びを採り入れていきます。5歳児は、1年の見通しをもたせたり、1日のスケジュール表を子どもが考えながら作り、保育者から言われなくても、自分たちで時計をみたり、伝え合うようにしています。年下児や新入園児とかかわるようにし、年長児としての自覚を持てるようにしています。当番制にして任せられることの喜びを感じながらも、責任感をもつ経験をしています。</p>		

【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>クラスの指導計画と関連させながら、障害のある子どもの状況に配慮した個別支援計画、配慮児個別記録を作成しています。生活動作、言語、社会性、運動などの項目について、それぞれ発達における願いは何か、願いへのかかわりをいかにしたか、振り返りをしてどうだったか、を記録検証するようになっています。健常児とともに生活していますが、パニックになったような場合は、別室でクールダウンできるように個別対応に努めています。特性に応じて、保育者の指示が伝わりやすい方法を工夫しています。リハビリテーションセンターの専門職が定期的に巡回訪問しており、該当児童だけでなく、障害診断はありませんが、配慮を要すると思われる子どもの観察をこまめに行うことや専門家から助言を受けています。職員が障害児保育についての研修を受講し、スキルと見識を向上させていくことが今後の課題とされます。</p>		
【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p><コメント></p> <p>18時以降は、乳児幼児とも一部屋で過ごすため、なるべく乳児と幼児をわけて穏やかに過ごせるように努めています。折り紙、パズル、手品遊びなど、静かに過ごせる遊びをしていますが、ゆったり過ごすための環境設定をさらに検討したいとしています。長時間保育では職員交代時の引継ぎをしっかりと行うことが必要なので、子どもの様子や特記事項を申し送る「登降園チェック項目」を利用し、保育士間の連絡を図るようにしています。18時半以降の1、2歳児には補食(おにぎり、味噌汁)、19時以降にお迎えの子どもには夕食(ご飯、味噌汁、おかず)を提供しています。</p>		
【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p><コメント></p> <p>小学校との連携については、全体計画のなかに位置付けられています。5歳児が9月以降に取り組むアプローチカリキュラムを作成し、指導計画に反映させています。5歳児の年間指導計画には、「就学への期待とや不安感を受け止め、地域の小学校と交流を通し、期待がもてるように援助する」としています。スポーツフェスティバルは小学校の体育館を借りて、小学校を身近に感じるようにしています。校区内の小学校と交流会をしており、昨年は小学校年のクラスに入っの入学疑似体験、小学生と公園に遊んだり、校内の各所を見学して、子どもが学校生活について見通しを持てるような取り組みをしています。入学前には、進路先の小学校から園児についての問い合わせに回答したり、意見交換、連携を図っています。園長の責任で保育要録を作成し、趣旨を懇談会で保護者に伝えていきます。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>常勤の看護師が園内の衛生管理、園児の健康管理、保護者からの相談を担当しています。子どもの健康管理に関する保健計画を作成し、実施しています。子どもの健康状態は、保育士が登園時の視診、保護者からの口頭の伝達を、登降園チェックシートに記録し、職員間で共有しています。感染症が発生した場合は、感染症別にお知らせを掲示します。保護者にわかりやすく、登園開始のために医師の診断書を必要とする病名は赤字、保護者届だけでよい病名は黒字にする工夫をしています。ニュースレターに健康の欄を設け、その時期に家庭でも注意が必要な記事を掲載しています。0、1歳児の呼吸確認は5分間隔でタイマーで実施しています。体調を崩し始めた園児には体温の推移をグラフ化し、具体的な症状を記入した「症状経過記録」を作成して、保護者に渡し、受診の際に医師に提示できるようにしています。</p>		

【A13】	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<p><コメント></p> <p>健康診断、歯科健診は年に2回実施されており、結果が記録され、職員に周知されています。歯科健診で気になる結果の子どもの保護者には、カルテの内容を見せることもあります。また、歯磨きの指導も行っています。家庭での生活に生かされるように、健康診断の結果は、保護者にその日のうちに口頭で伝えていますが、申し送りに漏れがないように注意していきたいとしています。年間を通して、手洗いうがいの励行、毎日の散歩などの野外活動、午睡(休息)、薄着などを実施し、保健計画に沿って健康増進を図っています。</p>		
【A14】	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>アレルギー疾患のある子どもに対しては、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、保護者から「保育所におけるアレルギー疾患・生活管理票」を提出してもらい、医師の見解を確認し、連携をとるようにしています。食事の献立に3大アレルゲン(小麦粉、卵、牛乳)は使用せずに献立を作っています。加工品、添加物は使用していません。それでも、いざという時のために、アレルギーの子に対する給食マニュアル、アレルギー確認表を全職員がわかるようにランチルームに掲示しています。職員は研修等により必要な知識を得たり、技術を習得しています。</p>		
A-1-(4) 食事		
【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。	a
<p><コメント></p> <p>食育年間計画、年齢別食育年間指導計画を策定しています。年間目標を「楽しく食事をする」「お腹が空いて食べるリズムをもつ」「食に興味をもつ」において、年齢ごとのねらいと取り組みを毎月計画しています。楽しく食事ができるように、3歳児以上を対象にビュッフェを導入しています。自分で好きなものを食欲と好みに応じておかわりができるようになっています。食器は陶器を使用し、落としたら割れることを実感させ、ていねいに扱うことを学びます。5歳児は9月のお楽しみ会で子ども自身が食べたい献立を考え、職員と材料を検討し、買い物に行って食材を調達し、調理をします。前段階から包丁の練習などの準備を積み重ねます。園庭でピーマン、トマト、たまねぎなどを子どもたちと育て、収穫後は給食に使用しています。5歳児は、地域の店の協力で自前の味噌を作ったり、魚の解体をみて「命をいただく」ことに気づくようにしています。</p>		
【A16】	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p><コメント></p> <p>毎日、子どもたちの喫食状況、残食量を記録し、月1回の食育会議で安全で楽しめる献立を考えています。食材は加工品を使用せず、食材業者から仕入れ、調理職員の手で一から調理します。旬のものを使用した献立表の作成に努めています。誕生日月のケーキの果物は、旬の果物を使用しています。調理員、栄養士は、調理だけでなく、子どもたちといっしょにクッキングを主導しています。希望する子どもは朝、食材の皮むきなどのお手伝いをしています。衛生管理マニュアルに基づき、調理室の清掃、調理師の健康状態、残留塩素、冷蔵庫の温度管理などに努めています。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
【A17】	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>0歳児から2歳児は毎日連絡帳で家庭との連携を密に進めています。3歳児から5歳児は、毎日の連絡帳でのお知らせはありませんが、個別に必要な時は「おたよりポスト」で連携を深め記録しています。また、「今日の活動から得た学び」とし、子どもたちの様子を写真にコメントを付け、廊下や階段の壁面に展示され、保護者は送迎時で確認することが出来ます。月に1回園から発信されるマンズリーレター(園だより)には、一カ月の間に過ごした各年齢の子どもたちの写真(アクティビティコーナー)、保健・衛生、食育、園長の保育目標に向けた成長を育みたいとするコメントなどを添え、保育の意図や内容を伝えています。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
【A18】	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>園は、常に保護者と共に子育てをしていることを表明し、一人ひとりの保護者の思いや要望、悩みや不安などに対して、保育の専門性を生かしたアドバイスや家庭の事情を配慮した支援をしています。懇談会では、同じ悩みや不安を持つ保護者らとの意見交換の場とし、いろんな意見を参考に安心して子育てが出来る支援をしています。地域の子育て支援の一環として保育所の特性を活かした「キノクラブ」を設置し、食育、歯の話、救命救急、絵本についての講習会を催しています。保護者からの相談内容は記録し、内容により、保育所内だけの対応に留まらず、適切な関係機関を紹介する体制も整えています。</p>		
【A19】	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>虐待など権利侵害のマニュアルを整備しています。視診、着替え、表情、態度などを観察し、虐待などを見逃さないように早期発見・早期対応に努めています。虐待などの可能性がある場合は、マニュアルに基づき、全職員が共有し、園長が速やかに児童相談所など関係機関に繋げる体制が出来ています。人権擁護や子どもの権利条約から虐待や権利侵害に当たる事例などを採り挙げ、職員間でワークショップ形式の勉強会をしています。園長は、虐待などが疑われる子どもについて、子どもに関する関係各所が集まり連携を行うカンフェレンスに参加しています。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
【A20】	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント></p> <p>指導計画や保育の記録を通して、保育のねらいと内容、環境構成、援助方法が適切であったかなど、職員間で話し合い、振り返りを行っています。職員の個人面談を年に3回行い、年度始めに保育士としての心構えや目標設定、中期には、進捗状況や見直し、年度末には、目標達成かどうかの自己評価を行い、自身の課題として次年度に繋げる体制が出来ています。人事評価においては、他者による評価も加え、職務に対する自身の立ち位置を把握することが出来ます。年度末には、理念や目標に基づく、活動の取り組みの状況、及び次年度への課題や改善点や保護者の園の満足度アンケートも記載した「保育所の自己評価」の結果を保護者・職員に報告し、園の質の向上に繋がっています。</p>		